

わが社の 企業価値

北海道総合技術研究所



事業
グ
イン
テ
ル
サ
ル
ン
コ
ム
テ
シ
シ
な

広大な面積を擁
っている。

最近では、介護施設管理運営に携わる社会福祉法人の業務分析を試みている。札幌市では施設利用の待機者が数百人に及ぶが、施設管理側では入居に空きが生じた場合、行政側の要望に迅速に対応するためには、日頃から待機者の状況を詳しく知っておく必要があるという。こうした切実な情報ニーズを目の当たりにし、ますます行政と民間との間に円滑な情報連携が必要になってくる状況を感じている。

し、しかも札幌一局集中型の産業構造を持つ北海道の情報化にはネットワーク技術が不可欠、営業会長はそう確信して、行政機関、市町村にも様々な提案を投げ

とは未来を目指し取り組むこの2大テーマのこと」と
営業会長は振り返る。

同社が、最初に取り組んだ商談は、道内最大の医薬品卸業秋山愛生館の流通システム開発。本社(札幌)

地域が抱える課題に目を向け、 ITの活用で解決策を探る

と道内の支店・営業所を回線で結ぶリアルタイム方式、伝票発行に伴う在庫管理業務の自動化である。開発期間は約3年、検討の場では地域特性を生かす情報システムのあり方が問われた。その経験が同社の素地となり、他卸業にもシステム化提案ができる技術力を身に付けることができた。

なお、バイオマス事業は3年後に別会社を設立した。

同社は、長年にわたり民間企業と行政側情報ニーズの狭間に置かれてきたため、社内ではニーズを多面的に受け止められる視野が育ってきた。例えば、札幌

が抱える課題に目を向け、IT活用の中を探る努力(研究会の開催など)が必要になる」と営業会長は強調する。



医大情報センター主催の広域医療情報ネットワーク実証事業(NORTH)の事務局を担当した時に「医療と福祉」のテーマに接した。これが契機となり、現在では「介護保険制度施行」の市町村システムにもかかわ

▽所在地 北海道札幌市中央区北10条西24丁目2番1号AKKビル5階▽代表者 営業利通・代表取締役 会長▽設立 1984年▽社員数 62人▽URL <http://www.hit-giken.jp>

北海道総合技術研究所は、1984年(昭和59年)に設立され、行政機関、地方自治体、民間企業卸・流通、販売製造などを対象に、システムコンサルティングとエンジニアリングを幅広く展開する企業だ。

設立当時、北海道では「新長期計画」、札幌通産局では「バイオアイランド構想」が提唱されていたので、未来の北海道開拓には情報技術の振興とバイオマス研究が不可欠と思われていた。この動向をにらみ有志が集まる勉強会には、同社の営業利通会長も参加した。勉強会が進むにつれて「新たなフロンティア精神」を掲げる有志が集い会社をつくることになった。

「定款にはコンピュータ・ソフトウェア開発とバイオマス研究を併記したのを覚えてる。社名の『総合』